



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1  
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会  
印刷：小野印刷

■ 第 171 号 ■



ZOOM で発表する葛西課長補佐

# 共同組織は街と社会の資本

黒石薬局 課長補佐 葛西 祐一

全日本共同組織活動交流集会は、全国で組織活動を行っている組合員や友の会が、2年に一度集まっています。本来であれば、2020年に山梨で行う予定でしたが、コロナ禍の影響により延期となり、昨年オンラインでの企画を行い、2年ぶりとなる今年、9月11日(日)〜9月12日(月)の2日間で開催されました。第15回全日本共同組織交流集会は開催となりました。

初日は、笛吹高校による「すいれき太鼓の演奏」で幕を開けました。記念講演では、京都大学大学院教授の近藤尚己氏より「貧困・格差による健康問題と共同組織の役割」をテーマに、貧困・格差による健康問題と誰もが自然に

なれるまちづくりに向けた共同組織の役割について、お話しいただきました。講演の中で、健康寿命日本一の山梨県について話があり、県民の健康意識が高まり、元気に働き続けている高齢者が多く、ボランティア活動や無尽への参加など社会との「つながり」をもって生活していると話されていました。

また「つながり」は、禁煙に匹敵する長生き効果があると話され、共同組織は街と社会の資本であり、病院と地域を「つなげて」くださいと、話されていたことが印象的でした。

初日最後は、現地企画「山梨勤医協の倒産から再建のたまたかいと教訓」が上映されました。改めて、病院・職員・組合員・地域のみなさまとの「つながり」が、再建できた大きな要因だったと思われました。

2日目は分科会が開催され、私は「コロナ禍における影響・服薬状況・アンケート」を報告しました。また、コロナ禍で共同組織の活動そのものが困難になった中でも、「コロナ禍だからできた活動もある」と多くの力強い報告を聞くことが出来ました。

2年後は、桃太郎で有名な岡山県で第16回全日本共同組織活動交流集会が行われる予定です。

8月30日(火)第1回評議員会方針学習会に参加しました。全日本民医連の岸本啓介事務局長を講師に迎えて行われました。

講師は時代の転換点を迎えている情勢の中での民医連の役割、医師問題、経営問題の現時点の課題と実践について話されました。

情勢についてはロシアのウクライナ侵略を受けての軍拡や憲法9条の改憲の動きが顕著に見えてきていること、コロナ禍の医療崩壊は長期に渡る社会保障費の削減、病床削減、保健所、保健師を大幅に削減してきた政治に問題があることが話されていました。

現実離れた大軍拡や憲法9条改憲、国民の「いのち」や「健康」よりも企業の経済活動を優先させる社会の在り方について、しっかりと反対の声を上げていく必要があると思われました。

経営問題については中長期の経営計画をしっかりと立てること、社会保障改革に向かう政治に対して共通認識のある方々と連携してたたかうことが重要であると話されました。

## 困難なときこそ憲法や民医連綱領に帰る

藤代薬局 薬局長 木村 匡宏

ました。社会情勢も経営的にも困難な状況は続きますが困難なときこそ憲法や民医連綱領に帰ることが大切だと再確認できる機会でした。



弘前薬局で ZOOM 参加したみなさん

## 防火訓練

9月12日(月)ファルマ弘前薬局で防火訓練を行いました。2階の出火を想定し、職員が模擬患者様の避難を誘導したり消火器を持って消火したりしました。終わりには、水消火器を使い消火器の使い方の練習も行い、いつ起こるかわからない災害に対応できるよう訓練を行いました。



壁の火に向け、模擬消火訓練中の様子

写真紹介

# 介護が必要な方が

## 取り残されないように

居宅介護支援事業所ファルマ 伊勢 充



8月27日(土)にオンラインで、2022年度青森県民医連ケアマネジャー研修が開催されました。

53名の県内事業所のケアマネジャー(以下、ケアマネ)がオンラインで集まりました。

2020年から続く新型コロナウイルス感染症拡大により、日々変化してき

たケアマネの業務の実際や課題を共有し、ここ近年重要視されている、リハビリテーションへの理解を深めるための研修内容となっていました。

診療報酬の改定により、在院日数が短く、退院後の生活を想定したりハビリが十分に入院中に行えずに退院になるケースもあり、そのような方にとって退院後のリハビリテーションの継続がとても重要となります。

を広くアクセスメントし改善を図っていくことの重要性を学びました。

ケアマネマネジメント業務も変化しました。ICTを活用しながら、人とのつながりが薄れている地域の

中でも、介護が必要な方が取り残されないような取り組みが求められています。

# 薬害を防ぐために

黒石薬局 薬局長 大川 誠也



東京の厚生労働省の前に並んだのは何年前のことか：15年ほど前だったような、とても暑かったことを覚えています。

厚生労働省の前には、「二

度と薬害を起こしません」と誓いが刻まれた石碑があります。

今回の薬害根絶デーもZOOM開催となりました。

今問題になっているのは新型コロナウイルスに用いる新薬の承認制度です。

緊急承認制度を使い、薬の安全性を確認しないまま承認しようとしていま

す。

今までも問題があると分かっているのに、あえて見えないふりをした結果、多くの死者を出したイレッサの教訓が活かされていません。

HPVワクチンを打った結果、副作用に苦しんでいる方々のお話も聴きました。まさかこんなことにな

# 薬剤師の仕事を再認識

ファルマ弘前薬局 薬剤師 福井 寛太



9月3日(土)、浪岡中央公民館にて2022年度県連薬剤師2年目研修が開催され、ファルマ弘前薬局からは2名が参加しました。

まず、あおもり協立病院の台丸谷薬剤師より「論文の読み方について」の講義が行われました。

よく患者様より「この薬は一生飲まないといけません」とは思わなかったという言葉があり、薬とは患者様の人生を左右することもあるのだとあらためて思います。

自分が厚生労働省の前に行ったあの日から、薬害を防ぐために薬剤師として何か出来ていたのだろうかかとふと思いました。

あの言葉を刻んだ石碑はきつとあの日と同じ場所にまだあることでしょうか。

いのか「薬を飲んでいてことで病気の発症を予防できるのか」などといった質問を受けることがありますが、今回の講義では、その質問に対して参考にできる論文を見つけ、自分なりに要約し患者様にフィードバックするのも薬剤師の仕事だということを再認識しました。

また、EBM(Evidence-Based Medicine) 根拠に基づいた医療を日頃から意識することと論文を読むための基礎についても学習しました。



研修を受ける(左から)福井薬剤師、成田薬剤師

今後、外用塗布剤についての勉強も強化していきたいと思いました。

## ～パンフレットご紹介～

現在検討が進められている史上最悪の介護保険制度改定。これを実行させてはいけません。弘前市の介護保険をよくする会は、パンフレット「住民本位の介護保険制度実現のために」を作成しました。

これまでの保険料推移を振り返りながら①保険料値上げ②利用料自己負担2倍化③ケアプラン有料化④要介護1、2の保険外し⑤杖など福祉用具をレンタルから外す⑥施設のIT化による職員減らし等が狙われています。

住民本位の介護保険制度 実現のために



発行：弘前市の介護保険をよくする会  
〒036-8566 弘前市北橋町11番地1 居宅介護支援事業所ファルマ内  
TEL 0172-44-0101 FAX 0172-32-0201

パンフレット

これらが実現すると東大の上野千鶴子名誉教授がいうように在宅介護が在宅「放置」になりかねません。

ぜひ利用者様や患者様にこちらのパンフレットをご紹介ください。そして反対運動を盛り上げましょう。こちらのパンフレットが欲しい方は介護保険事業所ファルマの伊勢さんまで。

# 社会保障運動の大切さを学び 運動の輪を広げよう

藤代薬局 三上 菜葉

9月17日(土)〜18日(日)の2日間にかけて「第49回中央社会保障学校」がオンラインで開催されました。

全国から2日間で852人の参加で過去最高人数でした。

1日目は、明海大学経済学部准教授の宮崎礼二氏から「安全保障と国民生活〜脱新自由主義めざして」というテーマで講演があり、軍事費と社会保障費の関係やアメリカと日本との防衛費についてお話しになりました。

その後、特別報告として各医療現場の方から「コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾〜医療現場からの告発〜」をテーマに、これまでの振り返りや現場のひっ迫した状況の報告がありました。

2日目は、神戸大学准教授の井口克郎氏から「社会保障運動入門講座〜人権としての社会保障と社会保障運動〜」というテーマで講演があり、社会保障運動とは何か社会保障はなぜあるのかなどについてお話しになりました。その中で印象に残ったのは坂道モデルの絵です。

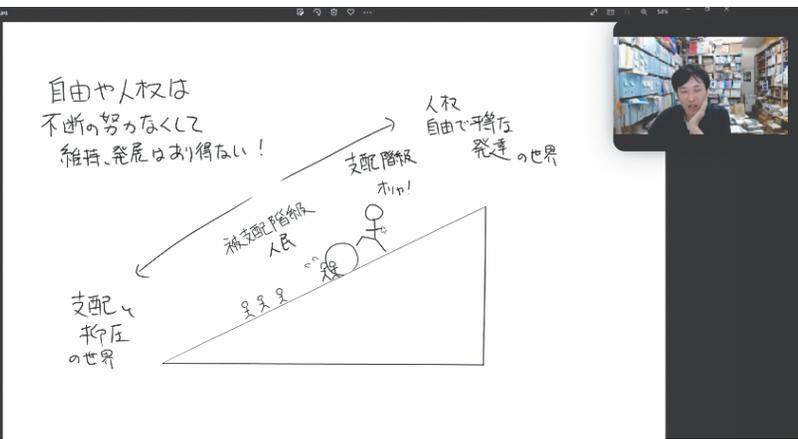
支配階級の人たちが上から大きな球を蹴飛ばし、被支配階級の人民が下から押し返している図です。社会保障運動が分かりやすく表されていて、反対する人数が多くなればなるほど押し返せるのだと運動の大切さを改めて考えさせられました。

また社会保障運動は憲法を武器に運動していますが、その憲法が変えられる現状を聞き、憲法は国を守るものだが都合のいいように変えられるのはおかしいと思えました。

まずは民医連職員から現状を把握し、同じ想いの人の輪を広げ、大きく押し返す力となるよう運動をしていくことが大切だと感じました。

その後は「届けよう現場・地域の声、広げよう運動」をテーマにシンポジウムが開催され、千葉県

戸市の取り組みや千葉県柏市での請願書運動、松戸労連のなんでも相談会、天海訴訟についてと4つの報告がありました。



ZOOMで行った講義の様子

# 「熟議」の重要さを改めて認識

フルマ弘前薬局 主任補佐 工藤 由希子

9月23日(金)弘前駅前記念会館で核燃だまっちやおられん津軽の会第36回市民講座が開催され、共愛学園前橋国際大学准教授の西館崇氏より「原子力政策と民主主義〜核廃棄物をめぐるカナダの葛藤〜」についてお話をいただきました。

カナダでは、核燃料廃棄物処理問題について国民協議を行いました。18歳以上のカナダ人から無作為に抽出し、合計40人のグループを作り、当該政策課題について学び、多数の市民の価値観に関連する複数の政策アプローチを検討し、実現可能なアプローチを探っていくきます。

核廃棄物の処分方法をめぐっては、「安全」を最重要要件に、世代



講義を真剣に聴く会場の様子

を超えた責任、信頼と信用の確保をどう実現するかが重要です。参加者からは、「核廃棄物管理についての知識不足と、問題が抱える課題についての認識不足に驚いた」、「社会が核技術を利用してきた時間の長さの問題の複雑さを理解するにつれて、自分たちの認識不足に対する憤りを感じた」などの感想があったそうです。

カナダの取り組みから

感じることは、私たちは、問題解決に向けての対話を十分にしているかどうかという事です。対話とは、対等な人間関

係の中での相互性がある話し方で、何度も論点を往復しているうちに、新しい視野が開け、新しい創造的な何かが生まれます。 「熟議」を重ねることの重要さを認識した講座であり、やはり知らないでは済まされないと感じました。

## 写真紹介

# 国民健康保険制度出前講座



講師の高松相談役(奥)

10月7日(金)津軽保健生協の社会保障平和委員会の出張出前講座が開催されました。講師は高松相談役で、テーマが「国民健康保険制度と引き下げを求める運動について」でした。20名の参加者からは「勉強になった」、「最低限度の生活とは何なのか改めて考えさせられた」、「もっと社会保障制度を学習したい」などの感想がありました。

# 20才のわたし

ファルマ浪岡薬局 薬局長 高橋 和希

ご存知の方もいると思いますが、20歳の私は「青森もりもりあおもり米♪」でお馴染みのお米大使でした。大学生の時、少し癖のあるルックスからか、バイトの面接ではことごとく不採用。そんな時あるイベント会社に、顔が隠れる仕事ならと採用していただきました。その会社ではピエロ、お化け屋敷のおぼけ、そして人生の転機ともいえる「着ぐるみ」という仕事に出会いました。

はじめは暑さと重さでただ歩いて手を振ることで精一杯でした。デビュー戦はどう動いて良いかわからず、惨敗。そんな悔しさから、ディズニーのDVDを手に取り、ミッキー兄さんやミニー姉さん、ドナルド先輩の動きをひたすら研究しました。その努力が報われ、お米大使のレギュラーメンバーに抜擢、男性が入っているとは思えないと大絶賛されました。

保育園での食育集会や青森ねぶた祭、スーパーでの試食販売、特に収穫の季節は大忙しでした。

この写真はゆるキャラサミットで平内町のホタちゃん、むつ市のムチュラン、つがる市のつがるちゃん、決め手くん、そしてそして青森県のご



青森県のご当地キャラ集合!!

当地アイドルりんご娘さんと撮った一枚です。

今は長男が夕方になると、覚えてた言葉で「青森もりもりあおもり米♪」と歌っていて、非常に感慨深いものがあります。まだ、その正体は明かしていません…。

## 新 人 紹 介



弘前調剤センター  
やまだ りさこ  
山田 理沙子

8月15日(月)より弘前調剤センターで勤務している山田理沙子と申します。以前は病院で事務員として働いていました。ファルマ弘前薬局を利用する機会が何度もあり、

患者様一人ひとりに対する親切な対応に感動したことが入社するきっかけとなりました。調剤事務の仕事は初めてなので覚えることがたくさんあり、日々勉強させていただいております。わからないことだらけですが先輩方がとても丁寧にご指導くださるので毎日充実して楽しく仕事しております。1日でも早く皆様の役に立てるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

## ♪うまれました♪

3月19日に本部(県連出向)の齊藤駿介さんに笑顔がかわいい女の子(鈴華ちゃん)がうまれました。おめでとうございます。



すくすく大きくなってね♡

## 写真 紹介

# 9条改憲ストップ!

8月28日(日)と9月24日(土)弘前駅前りんご広場で「憲法9条守れ、戦争法廃止!集会とパレード」が開催されました。ファルマからは8月27日は3名、9月23日は5名が参加し、国葬についての反対やまだ続くウクライナ侵略による核兵器による威嚇反対などを訴えました。



8/28に参加した崎野専務



9/24に参加したみなさん



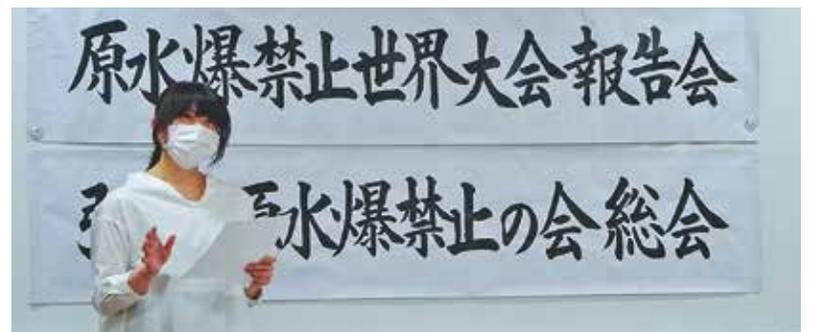
駅前ではアピールし、行進する様子

# 原水禁世界大会報告会

9月9日(金)弘前市民会館の会議室にて弘前市原水爆禁止の会主催で、原水禁世界大会の報告会が開催されました。ZOOMで世界大会へ参加したファルマ弘前薬局の田中薬剤師と本部の工藤留美さんが、参加して感じたことを報告し、改めて原爆の恐ろしさや核兵器廃絶を訴えました。



写真を使って発表する田中薬剤師



感想を身振りをつけて発表する工藤留美さん



参加したみなさんで集合写真